

咽頭結膜熱

ふくおか耳鼻咽喉科

〒477-0032 愛知県東海市加木屋町2-224-2

TEL (0562) 38-2800

咽頭結膜炎(プール熱)の原因・感染経路

夏に流行する「プール熱」。プールで感染することが多いため、一般的に「プール熱」と言われますが、正式名は「咽頭結膜熱(いんとうけつまくねつ)」です。

感染経路は、唾液などを介してうつる飛沫感染と、密接に近くにいることでうつる接触感染。感染力はかなり強いので、家庭生活を共にしている兄弟姉妹間でうつることも多いです。眼脂などにも感染力があり、ウイルスはノドや目から体内に侵入します。

感染から発症するまでの潜伏期間は、5~7日間。夏に多く、幼児から学童までに多く見られます。



プール熱の症状

目からも感染しますので、タオルなどの共有は辞めましょう。プール熱の正式名称である「咽頭結膜熱」という名前の通り、ノドと目の症状と発熱が主な症状です。

- 40℃前後の高熱で5日前後続く
- 眼の白みの部分の充血(結膜充血)、眼やに(眼脂)
- ノドの痛み(咽頭痛)、ノドの腫れや赤くなる(咽頭発赤)

この他、全身倦怠感、頭痛、食欲不振なども見られます。発熱は39度以上で5日も続くことがあります。治るとスーッと下がる人が多いです。時に肺炎を起こすことがあるので、注意が必要です。



プール熱の予防と登校可能時期

プール熱の予防法は、第一に感染者との接触を避けること。他の多くの感染症と同様、うがいや手洗いでの予防も有効です。プールの際は、水泳前後のシャワーと、プールの後の目洗いやうがいを徹底することが大切。

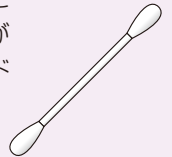
プール熱は学校保健法で第二種伝染病に指定されているため、感染がわかった場合は出席停止になります。発熱や眼球結膜の充血、ノドの痛みなどの主要症状が無くなってから**2日間経過する**と、学校などは登校可能です。

★症状が急に変わることもあります。疑問な点や困った事がありましたら、なるべく早目におたずねください。

プール熱の診断法

まず、アデノウイルスへの感染を調べる必要があります。

迅速キットによって行われ、ノドを綿棒でこすって検査を行います。15分程度でキットが「+ (陽性)」になれば、アデノウイルスがノドにいることがわかります。



プール熱の治療法

アデノウイルスに対する特効薬はありません。

- 安静と十分な睡眠で免疫力が落ちないようにすること
- 水分補給を行うこと
- 高熱でツライ時には解熱薬を使いますが、時間がたつと再び発熱します
- ノドの痛みには、うがいや鎮痛薬を使います
- 眼脂や眼球結膜充血には抗生剤やステロイドの点眼薬を使います
- 眼のかゆみの強い時には、抗ヒスタミン薬やステロイドの点眼薬を使います

特に、脱水を防ぐための水分補給は大切。ノドの痛みがあるので、ノドごしのよい飲料で、できれば電解質を含む飲料がおすすめです。下痢などの症状がない場合はノドが痛くて飲みにくいことがあるので、ノドごしのいい少し冷たい飲料の方がいいでしょう。

発症後は特効薬がなく、自然治癒を待つしかない。症状を抑えることと免疫力を高めることが大切です。普段から手洗い、うがいでの予防に努めるようにしましょう。



おだいに
なさってください。

